



# 上山小学校「風のたより」

令和6年12月19日(木) 校長 有谷孝彦



学校経営目標：ふるさとを愛し、  
自らの未来を切り拓く児童を育成する



## 「迷ったら 動く」(\*^^)v

ずっと以前、当時勤めていた職場の先輩から、突然「福岡にある登山用品専門ショップに行くから家の前に立っときんしゃい！お金も持ってこんばよ！」と電話がかかり、早朝から先輩の車に乗って博多の中心街に出かけたことがあります。先輩はショップにつくなり、登山靴、300ほどの山用ザック、登山用ステッキ、ウェアその他もろもろを



私の身体のサイズに合わせて選定し、「これでよかろう！」とって笑顔で「ほら！買ってこんね！」と言われました。わたしは買いました。(買わされた?) 子供の頃、ボーイスカウトに所属していたこともあり、登山には興味があったのですが、この強引さ?により、自然大好きな自分が蘇ってきました。まずは多良山系から始まり、雲仙普賢岳、黒髪山、久住山などいたるところに連れて行っていただき、自然の雄大さや温泉を楽しみ、夜空の星を堪能しました。ストレス全開の頃でしたので、ゆっくりしたかったのですが反って良かったと今では思っております。真夜中の山中の満天の星は想像を遥かに超えます。寝ることが趣味に陥りがちなこの頃ですが、迷ったら動くことも必要なようです。時には、やや強引で不安なことにもチャレンジしてみるのもいいですね(\*^^\*)



君がいるのが好きだ

星について 考えるのが

何より楽しい

星も笑ったあの時

悲しくて星がにじんだ

あの日 あの頃

ぼくらが昔見た星と

ぼくらが今見る星と

何にも変わりが無い

それがうれしい

「嘲笑」 北野 武

から一部引用

## 「10000時間の法則」

2019年、当時小学4年生の少女、仲邑菫（なかむら すみれ）さんが、囲碁のプロ棋士になりました。3歳から囲碁を始めて、ちょうど10歳でプロ入りしたのです。天才肌であることは間違いないと思いますが、それ相応の努力もあったものと推察します。



ところで、「人が成功を収めるための1万時間の法則」という説がある

そうです。一流のスポーツ選手、世界で活躍する芸術家、オリンピックのメダリスト、日本を代表するような人になるためには、まず、「1万時間を費やせる努力とタイミング」が重なる必要があるそうです。では、1万時間といってもなかなか想像できませんが、どれくらいの時間なのかといいますと・・・。

◇1万時間を日に直すと約417日で、約1年2か月です。

◇1日に5時間の練習や努力をすると約6年かかることとなります。

◇1日に3時間の練習や努力をすると約9年間かかり、小学1年生から中学3年生までになります。例えば、やや乱暴な表現になりますがサッカーの練習を1日も休まず毎日3時間、9年間続けると一流のサッカー選手になる可能性があるということです。それは、野球でも陸上でもバスケットボールでも、ピアノでも同じことです。元「なでしこジャパン」で有名なサッカー選手の澤穂希さんは、中学生からクラブチームに所属し、20年間かけて世界一のチームのキャプテンを務めました。何年も続けることは誰にでもできることではありません。しかし、せめて継続する意識は持ちたいものですね。ただし、心身の健康が第一です！加えて、何が一流なのか、一流をどうとらえるかについても一考の余地ありますよね！

## ステーションナリー

右写真は、長年付き添ってくれている印鑑持ちのパンダくんです。皆さんにもお気に入りのグッズがあるでしょ？気に入ったら多少の困難があっても手に入れて長く使用する派です。おつかれさまです(\*^\*)



☆上山小のHPもご覧ください。学校だより（表）の2次元コードをご利用ください。